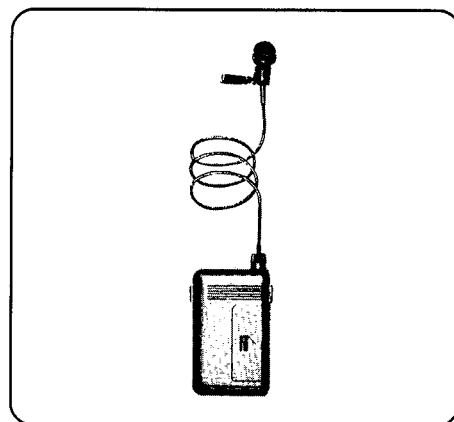


このたびは、TOAワイヤレスマイクロホンWM-1300をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。



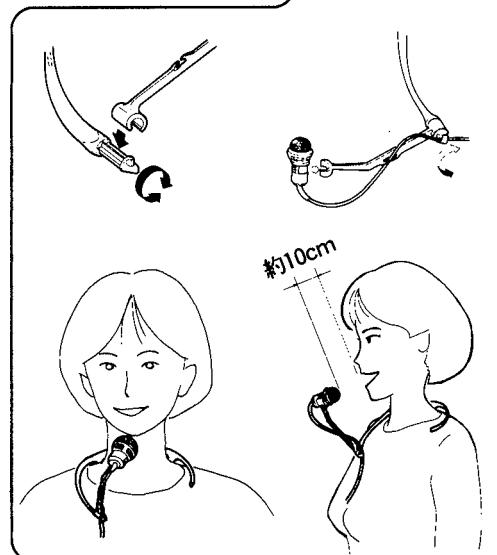
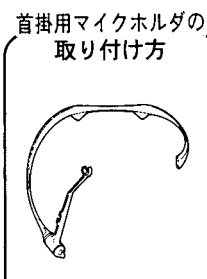
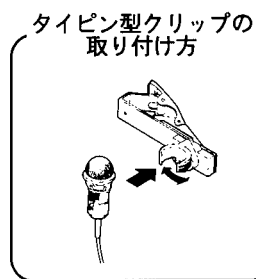
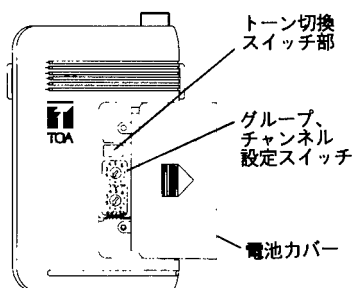
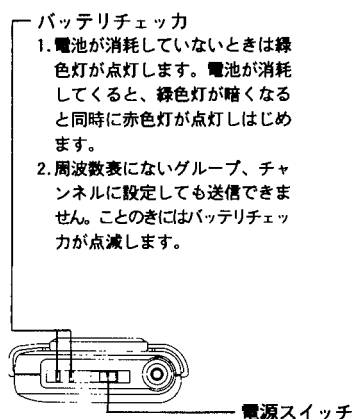
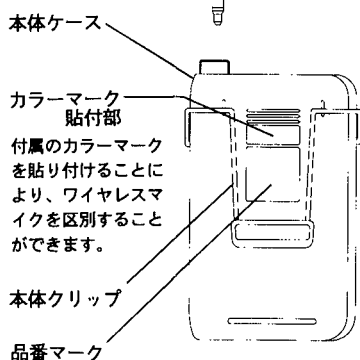
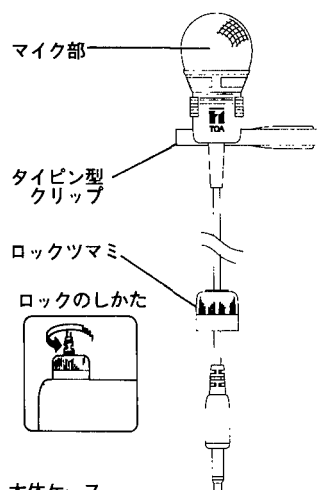
■ 概 要

- このマイクロホンは単一指向性エレクトレットコンデンサマイクユニットを採用した、ツーピース型のスピーチ用ワイヤレスマイクロホンです。
- 800MHz帯B型PLLシンセサイザ方式の採用により、30波の周波数設定が可能です。
- 電源は単三乾電池ですが、別売りの充電器により充電式としてもご使用いただけます。
- 抗菌処理を施しています。
- 付属の首掛用マイクホルダを使用することにより、ハウリングをおこしにくく、より明瞭な音声を収音できます。

■ 使用上のご注意

- このワイヤレスマイクは電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。みだりに剝がしたり損傷のないようご使用願います。
- 分解したり、改造することは法律で禁じられています。
- 床に落としたり、かたいものに当たったりしないでください。
- 夏の閉めきった自動車の中のような温度の高い所や湿度の高い所に置かないでください。
- 汗や海水のかかるところでは使用しないでください。故障の原因となります。
- ボディの汚れは、乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤をしみこませた布で軽くふいてから、からぶきしてください。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは、絶対に使用しないでください。
- 半月以上ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

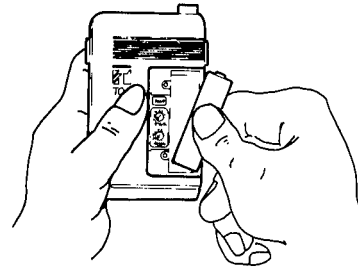
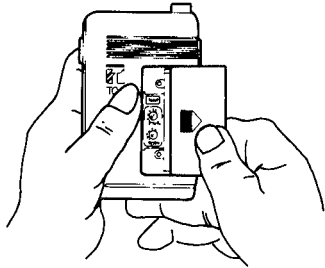
■ 各部の名称とはたらき



■ 乾電池をご使用になる場合

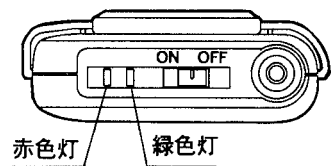
● 乾電池の入れかた

1. 電源スイッチを切ります。
2. 図のように親指で電池カバーを押しながら矢印の方向にすべらし、本体からカバーを外してください。
3. 電池収納部の+と-の向きに正しく、単三乾電池1個を入れます。
4. 電池カバーを元どおりにします。



● 乾電池の交換時期

1. 乾電池 (R6PU マンガン電池 (黒))は連続使用で約7時間使用できます。(※マンガン電池(赤)では約6時間、アルカリ電池では約21時間使用できます。)
2. 2色式バッテリーチェッカについて
乾電池が新しいときは緑色灯だけが点灯します。乾電池が消耗してくると緑色灯が暗くなると同時に、赤色灯が点灯しはじめます。さらに消耗しますと赤色灯が点滅します。
ご使用中に赤色灯が点灯しはじめたら、30分以内に新しい乾電池と交換してください。



■ 充電式としてご使用になる場合

ご注意

- 乾電池を入れたまま充電することは絶対にやめてください。破損の恐れがあります。
- 充電式としてご使用になる場合は、専用充電器BC-1000 (別売) をご使用ください。
- ニカド電池は必ず充電器に付属されている専用ニカド電池、または別売りの専用ニカド電池WB-1000 (2ヶ入) をご使用ください。他のニカド電池では充電できません。

● 専用ニカド電池の入れかた

乾電池を入れるときと同じ順序で、専用ニカド電池WB-1000を本体に入れます。

● 充電のしかた

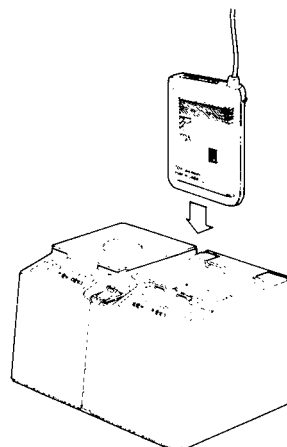
1. ワイヤレスマイクの電源スイッチを切ります。
 2. 専用充電器BC-1000に付属のアタッチメントを取りはずし挿入口に差し込みます。(奥までしっかりと差し込んで下さい。) これで充電表示灯 (赤) が点灯し、充電が開始されます。
 3. 約1時間で充電が完了し、充電完了表示灯 (緑) が点灯します。
- 詳しくは充電器BC-1000の取扱説明書をお読みください。

● 充電時期

1. 満充電後は連続使用で約7時間使用できます。
2. 放電が進むとバッテリーチェッカの赤色灯が点灯しはじめます。ご使用中に赤色灯が点灯しはじめたら、すぐに充電をおこなってください。(ニカド電池の場合は、赤色灯が点灯しはじめたら数分で使用できなくなります。)

ご注意

- 充電する場合は必ずワイヤレスマイクの電源スイッチを切ってください。電源スイッチを入れたままでは正しく充電されません。
- ワイヤレスマイクを充電器に入れても充電表示灯 (赤) が点灯しない場合は、ワイヤレスマイクが差し込み口の奥まで正しく挿入されているか確認してください。
- 専用ニカド電池WB-1000を初めて使用する場合や、長期間使用していなかった場合には、ワイヤレスマイクをご使用になる前に充電を行ってください。
- 専用ニカド電池WB-1000のご使用になれる充放電回数は約500回です。この回数を越えてご使用になりますと、ワイヤレスマイクの使用時間が短くなりますのでニカド電池WB-1000の交換をしてください。



■ 操作のしかた

- ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナのグループ及びチャンネル番号が合っていることを確かめてください。
- マイクロホンを本体に差し込み、ロックつまみをまわししっかりと固定します。
- 電源スイッチを“ON”にします。このときバッテリーチェッカの緑色灯だけが点灯していることを確認してください。
- ご使用後は電源スイッチを“OFF”にして、バッテリーチェッカが消えたことを確認してください。

■ 上手な使い方

- マイク部と口もとの距離
タイピン型クリップの場合
マイク部は口もとから15～20cm前後離して使うのが適当です。マイクヘッド部を口もとに近づけ（約5cm以内）大声で使われますと、音がにごり聞き苦しくなりますのでご注意ください。
- **首掛用マイクホルダの場合**
首に掛けた状態でマイク部は口もとより約10cm離れた位置に設定してご使用ください。
- 本体送信部を入れるポケットに電卓、金属物などが入っていると雑音が入ったり、音が途切れたりすることがありますのでご注意ください。
- ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの距離
ワイヤレスマイクを2本以上ご使用になる場合、ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの間を50cm以上離してお使いください。近づけすぎますと雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ハウリングについて
ワイヤレスマイクをご使用になる位置でハウリング（ピーという音）しないように、ワイヤレスチューナの音量を調節してください。ワイヤレスマイクとスピーカが近づきすぎますと、ハウリングしやすくなりますのでご注意ください。首掛用マイクホルダを使用するとハウリングがおきにくくなります。
- ご使用になれる範囲について
このワイヤレスマイクの電波の到達距離は見通しのよい屋外で約60mです。（到達距離は使用する受信アンテナの種類、設置方法によって異なります。）特に雑音が多い場合、または音が途切れたりするときは、ワイヤレスマイクをできるだけ受信アンテナに近づけてください。
ワイヤレスマイクを受信アンテナに近づけすぎますと、ワイヤレスチューナが混信したり、誤動作をしたりすることがあります。ワイヤレスマイクは受信アンテナから3m以上離してご使用ください。

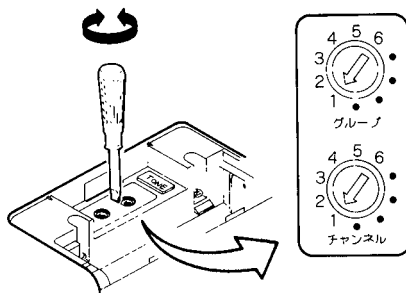
■ グループ、チャンネル番号設定のしかた

● ご注意

- 同一場所で同時に使う場合には、グループは全て同じ番号に、チャンネルは全て異なる番号に設定してください。
- ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナは同じグループ、チャンネルに設定してください。
- お買い上げの際はB11に設定されています。

● グループ、チャンネル設定のしかた（末尾の送信周波数表をみて設定してください。）

1. 電源スイッチを切り、電池カバーをはずします。
2. グループ設定スイッチの矢印を、設定したいグループ番号に付属のドライバで合わせます。
3. チャンネル設定スイッチの矢印を、設定したいチャンネル番号に付属のドライバで合わせます。
4. 電池カバーを元どおりにします。



● ご注意

- 電源を入れたままではグループ、チャンネル設定を変更しても、送信周波数は変わりません。一度電源を切りバッテリーチェッカが消えたことを確認したのち、再び電源スイッチを入ると新しく設定された周波数になります。
- グループ1～4は同一グループとして最大6波使えますが、グループ5は最大5波、グループ6は1波のみご使用になれます。
- 送信周波数表にないグループ、チャンネルに設定しても送信できません。その場合にはバッテリーチェッカの表示灯が点滅します。送信周波数表をみて設定しなおしてください。

● 800MHz帯ワイヤレスマイクロホンのチャンネル呼称について

〔射電波システム開発センター規格〕

例	B	1	3	①	……800MHz帯を表す
	⋮	⋮	⋮	②	……グループ番号を表す
	⋮	⋮	⋮	③	……グループ内のチャンネル番号を表す
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ		

■ トーンスイッチについて

このスイッチ設定を変えるときは販売店にご相談ください。

● 「トーン」とは

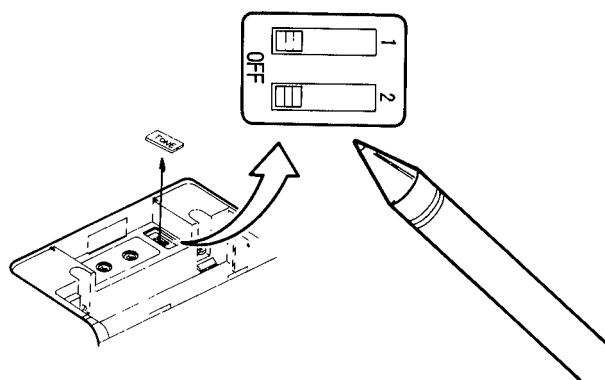
ワイヤレスマイクを使用する場合、ワイヤレスチューナの電源は入れたままの待機状態で使用しますので、ワイヤレスマイクの電源スイッチが「OFF」の時や、「ON」でも妨害電波が強いとき妨害電波の信号や雑音を出力することがあります。

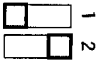
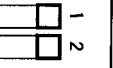
この対策としてワイヤレスマイクの電波にトーン信号をのせて送信し、ワイヤレスチューナではトーン信号の乗っていない電波は音声出力しないようにしています。

WM-1300は、このトーン信号を3種類搭載しておりますので、状況に応じて切り替えることができます。

● トーンスイッチ設定のしかた

1. 電源スイッチを切り、電池ケースをはずします。
2. トーンスイッチ部についているゴムキャップをはずします。
3. トーン信号の周波数を下表に従ってボールペンの先などで設定してください。このときはチューナユニットのトーン信号の周波数も同時に変更してください。
4. トーンスイッチ部にゴムキャップをとりつけ電池ケースを元どおりにします。



スイッチ位置				
トーン信号周波数	B1、B3グループ 32.768kHz B2、B4グループ 32.718kHz B5、B6グループ 32.818kHz	全ての グループで 32.718kHz	全ての グループで 32.768kHz	全ての グループで 32.818kHz

● トーンの効果について

- ワイヤレスマイクの電源スイッチを切ったとき、他のワイヤレスマイクからの混信妨害が入る場合で、混信の程度が比較的軽いときにはトーン信号の周波数を変えることにより混信を軽減できます。
- 混信が非常に強い場合はチューナの出力が混信妨害の影響を受け、トーン信号の周波数を変えても正常に使用できないことがあります。

ご注意

- ワイヤレスマイクとチューナユニットは、グループ、チャンネル番号及びトーン信号の周波数がそれぞれ一致していないと正しく受信できません。
- お買い上げ時はスイッチ1、2とも“OFF”の位置にセットされています。
- この機能は、トーンスイッチのついていないワイヤレスマイク、チューナユニットの組み合わせでのみご使用になれます。トーンスイッチのついていない機器の組み合わせでは、スイッチ1、2とも“OFF”の位置でご使用ください。

■ 故障とお考えになる前に

症状	点検項目	処置
電源スイッチを「ON」にしてもバッテリーチェック（緑色灯、赤色灯とも）が点灯しない。	（乾電池を使用のとき） 電池の極性は正しいですか。 電池は消耗していませんか。	電池を正しく入れ直してください。 新品の電池と交換してください。
	（ニカド電池を使用のとき） 電池の極性は正しいですか。 専用電池を使用していますか。 充電済みの電池ですか。	電池を正しく入れ直してください。 専用ニカド電池WB-1000と交換してください。 専用充電器で充電を行ってください。
電源スイッチを「ON」にするとバッテリーチェックの赤色灯が点灯する。	（乾電池を使用のとき） 電池が消耗しています。	新品の電池と交換してください。
	（ニカド電池を使用のとき） 電池が放電しています。	専用充電器で充電を行ってください。
電源スイッチを「ON」にするとバッテリーチェックの表示灯が点滅する。	周波数表にないグループ、チャンネルに設定されていませんか。	周波数表を見て設定し直してください。
電源スイッチを「ON」にしても受信表示灯が点灯しない。（受信しない）	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナは同じグループ、チャンネルに設定されていますか。 ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナは同じトーン信号周波数に設定されていますか。	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナを同じグループ、チャンネルに設定し直してください。 ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナを同じトーン信号周波数に設定し直してください。（トーンスイッチの位置を同じにする）
同時に使用している他のワイヤレスマイクと混信する。	他のワイヤレスマイクとグループは同じ番号に、チャンネルは異なる番号に設定されていますか。 ワイヤレスマイクどうしが近づきすぎていませんか。 ワイヤレスマイクが受信アンテナに近づきすぎていませんか。	周波数表を見てグループ、チャンネルを設定し直してください。 ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの間隔は50cm以上離してご使用ください。 ワイヤレスマイクは受信アンテナから3m以上離してご使用ください。

■ 仕 様

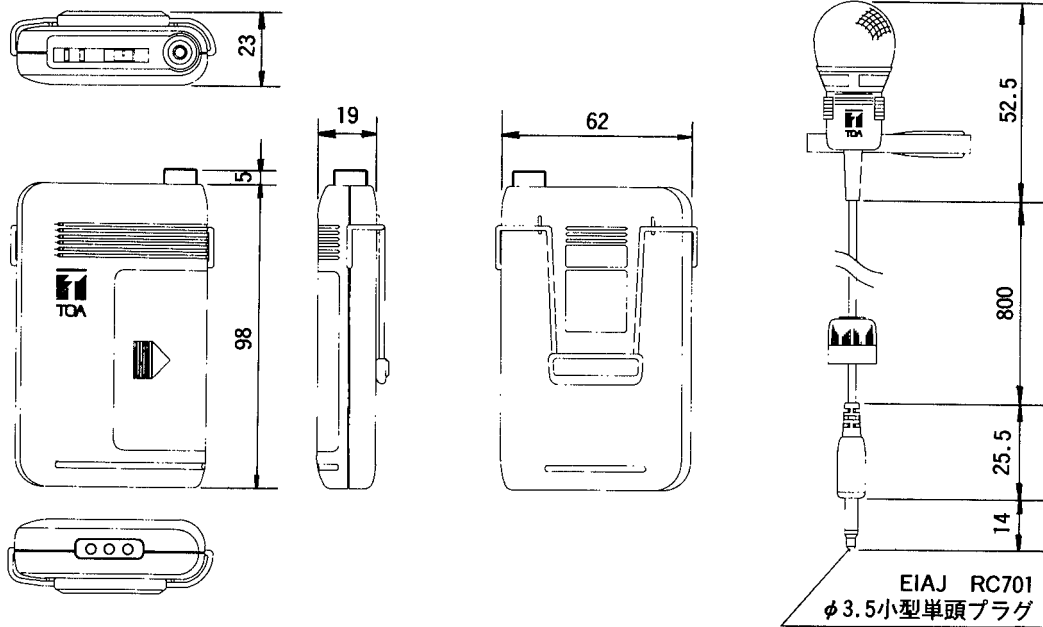
電 波 型 式	F3E
発 振 方 式	水晶制御PLLシンセサイザ方式
変 調 方 式	リアクタンス変調方式
空 中 線 電 力	2mW
到 達 距 離	条件の良い屋外にて約60m
変 調 感 度	±4.8kHz (79dB SPL 1kHz)
入力等価雑音	34dB SPL以下 (Aカーブ使用)
最大入力音圧	115dB SPL
プリエンファシス	50 μ sec
マイクユニット	単一指向性エレクトレットコンデンサ型
周波数特性	200~12,000Hz
アンテナ	内蔵型
トーン周波数	3波切替式
使 用 電 池	単三乾電池 (黒R6PU) $\times$ 1 または 専用ニカド電池WB-1000 $\times$ 1 (専用充電器BC-1000に2ヶ付属または、 2ヶ1組として別売り)
電 池 寿 命	約7時間 (連続使用)
使用温度範囲	0℃ ~ +40℃
質 量	約100g (電池含む)
仕 上	ダークグレー
付 属 品	首掛用マイクホルダ 1個 単三乾電池 1個 設定用ドライバ 1個 カラーマーク 1 (6色) 収納ケース 1 機器保証書 1 取扱説明書 1

送信周波数一覧表 (下記以外の組み合わせでは使用できません。)

グル ープ	チャ ン ネ ル	呼 称	周 波 数 MHz	グル ープ	チャ ン ネ ル	呼 称	周 波 数 MHz
1	1	B11	806.125	4	1	B41	806.750
	2	B12	806.375		2	B42	807.500
	3	B13	807.125		3	B43	808.000
	4	B14	807.750		4	B44	809.125
	5	B15	809.000		5	B45	809.375
	6	B16	809.500		6	B46	809.750
2	1	B21	806.250	5	1	B51	807.625
	2	B22	806.500		2	B52	808.125
	3	B23	807.000		3	B53	808.375
	4	B24	807.875		4	B54	808.750
	5	B25	808.500		5	B55	809.625
	6	B26	808.875	6	1	B61	807.250
3	1	B31	806.625				
	2	B32	806.875				
	3	B33	807.375				
	4	B34	808.250				
	5	B35	808.625				
	6	B36	809.250				

*お買上げ時はB11(グループ1、チャンネル1)に
設定されています。

■ 外観図



TOA 株式会社

TOA・インフォメーション・センター

フリーダイヤル (無料電話)

☎0120-108-117

商品や技術など、お問合せにお応じます。
業務時間: 9:00 ~ 17:30 (日曜・祝日除く)

〒665 宝塚市高松町2番1号
TEL. 0797-72-7567
FAX. 0797-72-1090